

Step by Step

12月10日(火)に教育改善プロジェクト委員会全体会議を行いました。各研究グループの取組状況や成果と課題について報告がありました。詳しい内容については、1月28日(火)に行われる名寄市教育研究集会の中で、各研究グループから報告がされますが、概略は以下の通りです。

教育経営の充実に関する研究グループ

(1) 市内共通モデルの学校経営計画の検証・充実

(2) 新学習指導要領への対応

(3) 学年経営案の検証と改善

- ① 市内共通の学年経営案モデル活用との交流
- ② 市内共通モデルを実践しての成果と課題の明確化
- ③ 課題についての改善策を検討・提示

(4) 先進校視察 令和元年11月6日(水)

- ① 研修名 『教育実践発表会』
- ② 研修先 旭川市立旭川小学校 旭川市立旭川中学校
- ③ 参加者 名寄市教育改善プロジェクト委員会
名寄市内小中学校教職員 10名

(5) ミドルリーダー研修(小学校・中学校合同)

- * 南小を会場に、各小中学校の主幹教諭と教務主任が4回の研修を実施
- * 今日的課題に対応した情報交流や学習会を推進
- ① 小中接続における教育課程での明確にすべき点
- ② 学習におけるきまりについて
- ③ 先進校、先行実践等についての資料収集について
- ④ スズキ校務の活用状況
- ⑤ 通知表について
- ⑥ 次年度の教育課程作成について
- ⑦ 年度の重点教育目標を実現する学年経営案の活用の在り方について
- ⑧ 外国語・外国語活動の評価について(小学校対象、東中英語教員指導) 他

(6) 小中連携の推進

- ① 先進校の事例紹介(東神楽町 外国語・外国語活動、武蔵村山市 学級活動)
- ② 先進校視察(旭川市立旭川小学校 旭川市立旭川中学校)
- ③ 市内小中学校の家庭学習の取組の一覧作成
- ④ 学習におけるきまりの一覧作成
- ⑤ 総合的な学習の時間におけるカリキュラムの連携

教育研究(研修)の充実に関する研究グループ

(1) 各校研修計画一覧配布

(2) 新体力テストに関わる研修会 令和元年5月28日(火)

- ① 参加者 名寄市内小学校教員、中学校体育科担当教員等 53名
- ② 成果 講師のマイクル・ハルボーセン氏の説明は大変わかりやすく、指導技術等において知識を深めることができた。

(3) 名寄市新体力テスト集計結果

令和元年度新体力テスト全種目とH30年度の全国比較をすると、課題は、50m走とシャトルランである。本年度は、全国の伸び（H30年度）をすべての学年で上回る結果が出ている。

(4) 道徳科公開授業 令和元年9月13日(金)

- ①参加者 名寄市内小中学校教員 26名
- ②授業者 名寄市立智恵文中学校 房川 亜侑 教諭 (T1) 築瀬 豊 教諭 (T2) 茶谷 裕樹 教諭 (T3) 牧野 巧 教諭 (T4)
- ③生徒 第2学年生徒 12名

(5) 外国語評価研修 令和元年10月17日(木)

- ①参加者 名寄市内小中学校教員 20名
- ②成果
 - ・各学校の実践交流を通して、様々な外国語科の評価方法について学ぶことができた。
 - ・小中の先生を交えた話し合いにより、外国語の価について現状や課題を知ることができた。

(6) 外国語活動公開授業 令和元年10月29日(火)

- ①参加者 名寄市内小中学校教員 32名
- ②授業者 名寄市立名寄南小学校 尾崎 久美 教諭
- ③児童 第4学年児童 40名
- ④成果 クラスルームイングリッシュなど効果的な指導方法を学ぶことができた。

教育指導の充実に関する研究グループ

(1) 小学校 中学校にて授業 (ICT (タブレット) 活用授業)

ICTを活用した授業の実際

令和元年8月29日(木) 風連中学校 授業者 森 憲児 教諭

○ICTを活用した理科の授業を実施した。大型テレビ、教師用及び生徒用タブレットを活用し理科の実験で考える授業を展開することができた。

令和元年11月28日(木) 風連中央小学校 授業者 寒川 寛之 教諭

○算数科の授業で「Scratch (スクラッチ)」を活用したプログラミング教育を実施することができた。

(2) プログラミング授業について研修会 (※名寄市地域連携研修講座)

(3) ICT機器活用調査及び情報活用能力育成に向けた資料作成

(4) 関係機関との連携についての研修

児童生徒の相談ケースの実態交流及び相談機関の選定と、リーフレットを作成した。

(5) 生徒理解、困り感のある児童生徒・特別な支援を必要とする児童生徒に係わる実践交流と事例研修

名寄市教育研究所特別支援班と連携し、支援の取組のポイントをまとめ、相談ケースの実例を掲載した実践交流資料を作成した。

(6) 困り感のある児童生徒への支援についての講演会の実施と研修

名寄市立大学社会保育学科の安永啓司教授に「困り感のある児童生徒への支援について」と題し、ご講演いただいた。

名寄市教育研究集会後、本年度のまとめをデータと紙ベースでお届けいたします。また名寄市のホームページにも取組内容を掲載する予定です。委員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

【文責 教育改善P委員会事務局長 野宮 (名寄東中)】